

普及活動情勢報告（令和3年10月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

今年のショウガの出来は？ ～有機栽培現地検討会～



現地検討会の様子

10月1日、有機栽培農家を対象にショウガの現地検討会を開催しました。栽培技術のレベルアップを目的に四万十町の農家が呼びかけたもので、当日は管内外から14名の参加がありました。

普及所から基本的な作業体系や、有機栽培での病虫害防除について説明し、その後、参加者のほ場で施肥方法や気をつけている点などについて意見交換をしました。

参加者からは「栽培の基本知識が無いと有機栽培はできない」などの意見が出され、基本技術の大切さを実感した様子でした。

普及所は今後も有機栽培農家に対し、栽培技術のレベルアップに向けた支援を行っていきます。

スマート農業で地域を支え守る ～スマート農業研修会を開催～



スマート農業研修の様子

10月7日、四万十町認定農業者総会でスマート農業研修を行いました。当日は普及所と事前に講演内容の打合せを行った営農支援センター四万十（株）の代表がスマート農業の実践状況について事例発表を行いました。営農支援センター四万十（株）ではロボットトラクターや直進安定機能付き田植え機を使用している他、ドローンによる防除を水稻、大豆、ショウガ栽培に導入しており、それぞれの機器について慣行と比較した省力効果を説明しました。また、スマートフォン上で入力できる経営・栽培システムの利点を紹介しました。

営農支援センター四万十（株）の代表は、スマート農業の実践で地域の農業を支え、守りたいと話していました。

普及所は今後も関係機関と連携してスマート農業の推進に取り組んでいきます。

学ぼう！病虫害の基礎知識 ～令和3年度 第2回新規就農者研修会～



ワークショップの様子

10月15日、就農3年目までの新規就農者を対象に、病虫害に関する講義およびワークショップを行いました。

講義では、病気や害虫に関する説明に加え、病虫害の診断方法や病虫害対策について説明し、ワークショップでは、実際に病気や害虫を顕微鏡を用いて観察してもらいました。

参加者からは、「実際に害虫や病原菌を見れて良かった」などの意見が聞かれ、具体的な病名を出した質問もあり、非常に有意義な研修会となりました。

普及所では今後も、研修会をはじめとした、新規就農者支援に取り組めます。

ASIAGAP認証に向けて	～次世代施設園芸団地のGAP認証取得に向けた内部監査～
 内部監査の様子	10月7日、次世代施設園芸団地の（株）ベストグロウと（有）四万十みはら菜園を対象に、ASIAGAP認証取得に向けた内部監査を実施しました。 普及所は、ASIAGAPの全ての管理点について書類等の確認や認証審査に向けた助言を行いました。 対象の経営体からは、「何事も記録に残すことが必要だ。改善できるところは改善していきたい。」等、前向きな意見がありました。 今後も普及所では、国際水準GAPの認証取得や取組みに向けた支援を続けます。

GAPを身近にするために	～イチゴ栽培農家とのGAP取り組みの確認～
 GAP取り組み確認の様子	10月14日、大正地区のイチゴ栽培農家に対し、JA高知県職員とともにGAPの取り組み内容の確認を行いました。 コロナの影響もある中で、コロナ対策として調製室に消毒液を準備したり、作業者の間隔を空ける等、試行錯誤しながらもGAPに取り組んでいました。農家からは「全項目記入するのは大変だ」という意見もありましたが、本人が意識せずに実施していた取り組みが会話から聞かれ、最終的には全項目取り組んでいたことが分かりました。 普及所は今後もGAPを通じて、農家の経営改善を支援します。